



平成23年2月4日

各位

上場会社名 澁谷工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 澁谷 弘利
 (コード番号 6340)
 問合せ先責任者 常務取締役 吉道 義明
 (TEL 076-262-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月11日の決算発表時に公表いたしました個別業績予想および平成22年10月5日に公表しました連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	580	530	△230	△8.34
今回発表予想(B)	24,601	△714	△757	△936	△34.00
増減額(B-A)	△3,398	△1,294	△1,287	△706	
増減率(%)	△12.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年6月期第2四半期)	23,383	151	175	△47	△1.75

平成23年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,000	2,650	2,650	1,280	46.35
今回発表予想(B)	63,000	1,720	1,650	570	20.64
増減額(B-A)	—	△930	△1,000	△710	
増減率(%)	—	△35.1	△37.7	△55.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	56,389	1,974	2,037	1,135	42.01

平成23年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	400	950	710	25.76
今回発表予想(B)	17,479	△980	△394	△203	△7.38
増減額(B-A)	△3,520	△1,380	△1,344	△913	
増減率(%)	△16.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年6月期第2四半期)	17,371	△400	△143	△170	△6.31

平成23年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	1,300	1,970	1,650	59.75
今回発表予想(B)	47,500	450	1,150	950	34.40
増減額(B-A)	△500	△850	△820	△700	
増減率(%)	△1.0	△65.4	△41.6	△42.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年6月期)	41,799	644	1,051	508	18.83

修正の理由

1. 第2四半期累計期間

<連結>

(1)売上高

a. パッケージングプラント事業について

第2四半期に納入を見込んでいた大型プラント10数件が下期に納入になったこと

b. メカトロ事業について

海外向けLED関連機器が期初予想を30%強下回ったこと

以上の結果、連結売上高は24,601百万円と平成22年10月5日公表の予想(前回予想)に比べ12.1%減少しました。

(2)利益の減少要因

a. 売上高の未達に伴う固定費の負担が増加したこと

b. 受注価格の下落

国内外ともに厳しい受注競争のため大型プラントをはじめ受注価格が下落したこと

c. 世界初の新技術へのチャレンジによるコスト増

イ. 製薬設備における輸液バック

ロ. EBシステム等ボトリリングシステム関連

ハ. メカトロシステムにおける新規半導体製造装置

以上の結果、営業損失は714百万円(前回予想営業利益580百万円)、経常損失は757百万円(前回予想経常利益530百万円)となりました。さらに子会社の繊維事業を廃止したことに伴う整理損失427百万円、資産除去費用70百万円を含む547百万円を特別損失に計上したことから、四半期純損失は936百万円(前回予想四半期純損失230百万円)となりました

<個別>

個別の第2四半期累計期間における業績は、連結と同様な理由により、売上高は17,479百万円と前回予想に比べ16.8%減少し、営業損失は980百万円(前回予想営業利益400百万円)、経常損失394百万円(前回予想経常利益950百万円)、四半期純損失203百万円(前回予想四半期純利益710百万円)となりました。

2. 通期

<連結>

連結の通期売上高は、前回予想の63,000百万円と同額を予想しております。

利益面では、コスト削減に鋭意努力するものの、受注単価が低く採算面で厳しい案件があることから第2四半期累計期間で生じた損失を補い切れず、営業利益は1,720百万円、経常利益は1,650百万円、当期純利益は570百万円とそれぞれ前回予想に比べ35.1%、37.7%、55.5%の減少を予想しております。

<個別>

個別の売上高は、前回予想から1.0%減少の47,500百万円を予想しております。

利益面では、連結と同じ理由により営業利益は450百万円、経常利益は1,150百万円、当期純利益は950百万円とそれぞれ前回予想に比べ65.4%、41.6%、42.4%の減少を予想しております。

以上